

2021年度日本語ボランティアブラッシュアップ講座 「相手も自分も大事にする日本語教室を目指そう！」

実施報告

主催：(公財)横浜市国際交流協会

(日本語学習支援者向け講座)

地域日本語教室ボランティア向けブラッシュアップ講座は、著作者の利益を守る著作権制度と、コミュニケーションに潜む無意識の差別に目を向けるマイクロアグレッションという2つのテーマで、それぞれ1回の講座を行いました。

2つの講座に共通する概念は「相手も自分も大事にする」そして「権利を守る」ということです。いずれの講座でも「作った人と使う人」、「発言する人と受け取る人」という両者の気持ちと権利を守るために私たちにできることを考えていきました。どちらの講座も講師からの丁寧な説明があり、またグループワークを通して参加者同士の意見、感想を共有することができました。

今回のテーマについて、事前知識がなかったが勉強になった、理解が深まったという声を多数いただきました。

ご参加いただいたみなさまありがとうございました。

講座名

相手も自分も大事にする日本語教室を目指そう！

講座1 日本語教室で知っておきたい「著作権」

講座2 「悪気はなかったんだけど・・・」

ーあなたも私もしているかもしれない、
無意識の差別ー

場所

オンライン (Zoom)

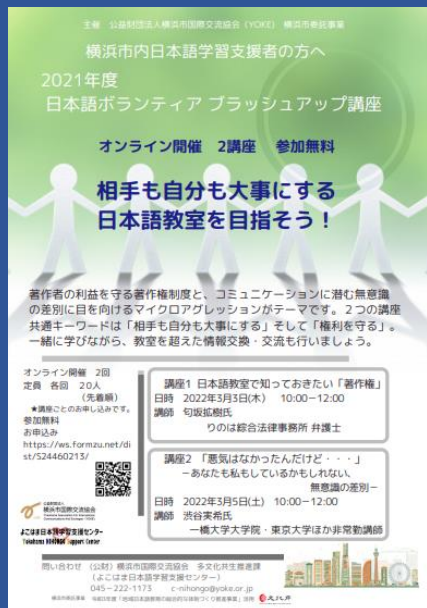
対象

横浜市内の日本語教室等で
活動している人

参加者数

講座1 32人

講座2 31人 (延べ63人)



主催：公益財団法人横浜市国際交流協会 (YOKE) 横浜市国際交流協会
横浜市内日本語学習支援者の方へ
2021年度
日本語ボランティア ブラッシュアップ講座
オンライン開催 2講座 参加無料
相手も自分も大事にする
日本語教室を目指そう！
著作者の利益を守る著作権制度と、コミュニケーションに潜む無意識の差別に目を向けるマイクロアグレッションがテーマです。2つの講座
共通キーワードは「相手も自分も大事にする」そして「権利を守る」。
一緒に学びながら、教室を超えた情報交換・交流も行いましょう。
オンライン開催 2回
定員 各回 20人
(先着順)
★講座2のお申し込みです。
参加無料
お申込み
https://es.formzu.net/dt/
st/524460213/
よこはま日本語学習支援センター
Yokohama Nihongo Support Center
問い合わせ (公財) 横浜市国際交流協会 多文化共生推進課
(よこはま日本語学習支援センター)
045-222-1175 e-yokohamajihongo@yoke.or.jp
横浜市中区東山 1-1-1 横浜国際交流協会横浜国際交流センター 302号室

講座1

日本語教室で知っておきたい「著作権」

日時：2022年3月3日(木) 10:00-12:00

講師：匂坂拓樹氏 りのは綜合法律事務所 弁護士

参加者：32人

講座2

「悪気はなかったんだけど・・・」

ーあなたも私もしているかもしれない、無意識の差別ー

日時：2022年3月5日(土) 10:00-12:00

講師：渋谷実希氏

一橋大学大学院・東京大学ほか非常勤講師

参加者：31人



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

https://yokohama-nihongo.com

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

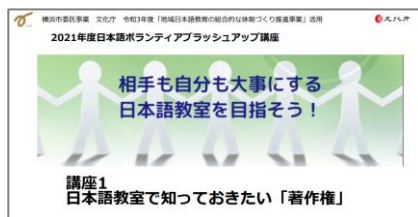


2021年度日本語ボランティアブラッシュアップ講座 「相手も自分も大事にする日本語教室を目指そう!」

実施報告

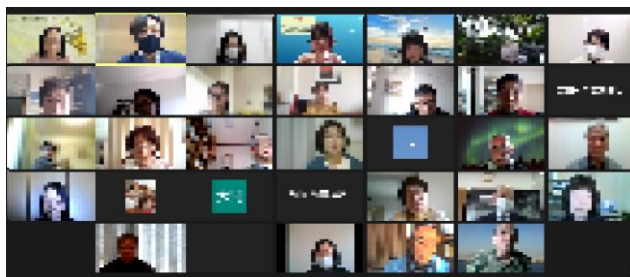
主催：(公財)横浜市国際交流協会

テーマ「著作権」



「そもそも著作権って何だろう?」から始め、まずは概要を理解する時間がありました。身近な例をあげながらの説明でした。その後、グループに分かれての意見交換では「教室でやっていることが著作権法にあたるのか」など日頃の活動での心配事などがたくさんあがりました。後半は、グループで出た多くの問いに対し、講師が丁寧に対応してくださり、みなさんの「もやもや」も晴れてきたようです。著作者への配慮を考える機会ともなり、日常の活動での留意点にも気づいた講座でした。

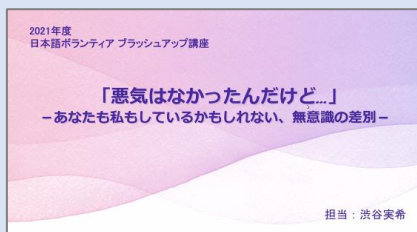
- ・レッスンに使用する際の方法がOKなのかNGなのか、判断に迷いますが、著作物を使う際には「もやもや」した気持ちを持ち、自分がやっていることで作者が不利益を被るのか・・・を考えながら、レッスンの準備をしたいと思いました。
- ・聞きなれない法律用語を使っの講座だったらよく理解できなかったと思うのですが、身近な具体例を挙げて解説してくださったので、非常にわかりやすかったです。



講座1 から

みなさん
の声
(アンケート
から抜粋)

テーマ「マイクロアグレッション」



差別とまでは言えないけど、受け取り手にとってはあまり気持ちがよくない言葉や態度があります。発言した側は差別とは思っておらず、むしろ褒めたつもりでいることもしばしばです。講座では豊富な具体例について、また、それぞれの体験をグループワークで話し合いながら、気づきにくい差別概念「マイクロアグレッション」について考えました。

明らかな差別や偏見と違い、わかりにくい部分が多いことや、同じ発言をされても、気になる人と気にならない人がいる。というところに難しさがあり、まずは自分事として捉えることが大切だというお話でした。

- ・マイクロアグレッションの存在を知らなくて、気づかないうちに差別になってしまうケースは非常に多いと思います。多くの人に知ってもらう活動が必要だと思いました。しかも、マイノリティからではなく、マジョリティが自分事として捉えることが必要であることを理解しました。
- ・「女性なのにすごいね。」などと気を遣ったつもりでも、受け取る相手にとっては傷つくこともあるということ。日常の話し言葉の中に潜んでいる偏見や差別について改めて考えさせられた。



講座2 から

みなさん
の声
(アンケート
から抜粋)



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama Nihongo Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします!

